点訳フォーラムＱ＆Ａ

2020年４月～2021年３月版

第２章　語の書き表し方

その１　仮名遣い

１　基本的な仮名遣い

１．p20　４．注意すべき仮名遣い　(2)

中央競馬会の重賞レース「菊花賞」、勲章の「菊花大綬章」は、「きくか」「きっか」どちらの読みがよいのでしょうか。

【A】

「菊花賞」は「キクカショー」、「菊花大綬章」は「キクカ■ダイジュショー」といずれも「キクカ」と書きます。

点訳フォーラムでは「菊花」は、点字では「キクカ」と書くとしてきましたが、この二つは固有名詞ではないかとのご質問やご意見をいただいたため、中央競馬会と内閣府に文書で問い合わせ、正式に文書で回答をいただきました。ここにその経過を記します。

内閣府の回答は、

《ご照会をいただきました「菊花大綬章」の仮名表記につきましては、根拠となるべき規定において、表記は漢字のみとなっており、仮名表記を示すものは特に定められていないところとなっております。「菊花大綬章」を仮名表記するにあたり、内閣府賞勲局としては、一般的な日本語における表記を用いていくこととなりますが、そのうち「菊花」については、「きっか」、「きくか」ともに表記されてきているものと認識しており、その中で「きっか」を使用し、「きっかだいじゅしょう」とホームページ、パンフレット等においてご案内している状況となっております。》

ということでした。この回答を受けて、点訳フォーラムでは、回答のお礼とともに以下のように記して、点字では「キクカ」と書くことを内閣府に報告しました。

《この記述を受けて、当フォーラムの関係者で協議した結果、点字表記の以下の規則に該当するので、点字では「きくか」と表記するとの結論に至りましたことをご報告させていただきます。(以下、「てびき」p20 (2)の規則を引用)

※ 菊花大綬章 ⇒ キクカ■ダイジュショー》

中央競馬会の回答は以下の通りでした。

《菊花賞は国営競馬時代の1948年から現在の名称となっております。弊会の周年史等を確認しましたが、あいにく典拠となる文書等はなく、表記は漢字のみで、仮名表記も見つけられませんでした。しかしながら、弊会が海外向けに作成している

印刷物等では従来より kikuka sho としており、現在の英語版WEBサイト(Horse Racing in Japan) においても同様の記載を行っています。
なお、ご指摘のURL 表記については、一般的に発せられている「kikka」を使用しているものの、これはWEB 上の場所を示す記号であり、正式な仮名表記は「きくかしょう」とご理解いただいて差し支えありません。
典拠をお示しできず恐縮ですが、ご賢察いただけると幸いです。》

これらのことから、点訳フォーラムのこれまでの書き方を変更することはなく、すべて「キクカ」と書くことといたします。

２．p20　４．注意すべき仮名遣い　(2)

「刻刻」と「逆光」について質問します。促音符を使わないで書く空見出しがある場合は、促音符を使わないとのことで、両方ともに空見出しがあるために「コクコク、ギャクコー」とすると教えられました。点訳フォーラムの「語例集」では「コッコク」となっています。

他のグループでも「コッコク、ギャッコー」と書いている所があるのですが、どのように理解したらいいでしょうか。全国的には統一されていなくて各グループで決めていいということでしょうか。

【A】

「てびき」p20で、促音化しない方を選択することを特に強調しているのは、語が複合している場合のつなぎ目についてです。【参考】にある「劇作＋家」「著作＋権」「活＋火山」のような場合になります。

漢字２字のような短い語の場合、促音化して読むことが明らかな語もたくさんありますので、必ず促音化しないで読まなければならないと言っているのではありません。

たとえば、ある辞書では促音化しない方が空見出しになっていて、別の辞書では促音化している方が空見出しになっているというように辞書によって判断が揺れる場合は、促音化しない方を選ぶことをお勧めします。「菊花」(キクカ)、「敵機」(テキキ) のような場合です。

「刻刻」「逆光」などは、促音化しない読みが空見出しにもない小型辞典もあり、殆どの辞書で「コッコク」「ギャッコー」の方に語義が書いてありますので、「コッコク」「ギャッコー」と読んでよいというのが、「てびき」、「点訳フォーラム」の判断です。

「逆効果」「逆光線」などは、「ギャクコーカ」「ギャクコーセン」と読みます。
漢字２字の語は無数にありますので、判断が揺れる場合も中にはあると思います。
そのような場合は、上記の基準を基に、各施設・団体で判断してください。

３．p20　４．注意すべき仮名遣い　(2)

原本に《名前の中に「っ」が入っていたような》とある場合の書き方について教えてください

活水（カッスイ）高校の名前を探すという状況です。促音符だけでの表示ができないので「かっ」とするか「つ」とするか、となるのでしょうか

【A】

第１カギの中に②の点を一つだけ書くと読み取りにくいので「ソクオン」と書くのがよいと思います。「ツマル■オン」「チイサナ■ツ」なども考えられます。

４．p23　４．注意すべき仮名遣い　(5)

伏せ字のあとに（第１つなぎ符をはさんで）長音符を書くことはできますか。

例：いくつかの駅を過ぎて、「次は〇〇ー、〇〇ー」のアナウンス･･･

【A】

つなぎ符類の後ろに、長音符、促音符を単独で書くことはできません。この場合も、長音符を省略して書くことになります。駅のアナウンスということが書いてありますので、長音符を省略しても雰囲気は伝わると思います。

５．p23　４．注意すべき仮名遣い　(5)　【処理】

「三郎～～～！」とある場合、どう点訳したらよいですか。「サブロー」と長音符の後に、波線が数個付いています。

【A】

「てびき」p26【処理１】にあるように、長音符を用いて書きます。そして、p23【処理】により長音符は複数続けて用いることはできませんので、「サブロー！」と書くことになります。

しかし、これでは、声をのばしていることがわかりませんので、それを表す必要がある場合は、発音を考慮して、「サブロオー！」と書くことをお勧めします。

６．p23　４．注意すべき仮名遣い（5)【処理】ほか

原文に「ＮＯッーーーーーーーーーーーーーーー」と書いてあります。

外国語引用符で囲みＮＯと書いた後に、つなぎ符でつないで、促音符、長音符を書いてよいのでしょうか。

【A】

点字では「ノーッ」と書く方法しかないと思います。

原文の表記を説明する必要がある場合は、点訳挿入符で、「原文はＮＯに続けて、小さな「ツ」そのあとに長音が15個付いている」のように説明します。

外国語引用符を閉じた後に促音符を書いても、促音とは分かりませんし、促音符の後ろに長音を続けることはできませんし、長音符を複数書くこともできませんので、この方法以外にはありません。

７．p23　４．注意すべき仮名遣い　(7)

(7) の用例の「そのとうり」「ほおっておく」のように、「う→お」「お→う（長音)」と仮名遣いを直す場合の基準をもう少し詳しく教えてください。

「おまちどうさま」というセリフの「う」は「お」に直して書けますか。「お好きにどおぞ」「どおしたの？」「こおいうふうに」「そおなんですけどお」「よぉし、行くぞ」などの「お」は、そのまま「お」を使えるでしょうか。

【A】

ここでは、現代仮名遣いとして誤った表記になっている場合に、正しい点字の仮名遣いにすることを言っています。擬声語・擬態語や、セリフなどで、意図的に発音を変えているような場合は、原文通りに点訳します。

「おまちどうさま」は、発音を意図的に変えたとは判断しにくいので仮名遣いの誤りと思います。

「お好きにどおぞ」「どおしたの？」「こおいうふうに」「そおなんですけどお」「よぉし、行くぞ」などの「お」は、そのまま「オ」と書いてよいと思います。

「オマチドオサマ」「オスキニ■ドオゾ」「ドオ■シタノ？」
「コオ■イウ■フーニ」「ソオナンデスケドオ」「ヨオシ、■イクゾ」

８．p23　４．注意すべき仮名遣い　(8)

現代文中の古文点訳について、現代文の表記に従う場合、次の語の表記はどのようにしますか。原本の清音通り、あるいは現代語の濁音に変えるか。

一例として

１．なつかしけれはとて　２．花をみすや　３．みやことり　４．きこえぬれと
５．誰（たれ）　６．耀く（かかやく）

【A】

現代文の仮名遣いに直して書く場合は、濁点、半濁点、促音なども含めて、現代文の仮名遣いに直して書くことになります。

１．ナツカシケレバトテ
２．ハナヲ■ミズヤ
３．ミヤコドリ
４．キコエヌレド
５．「誰」は漢字で書いてあれば「ダレ」でよいと思いますが、仮名で「たれ」とあった場合は、現代でも、「タレ」を用いることはありますので、その文脈に適切な

方を選んでよいと思います。
　６．カガヤク
となります。

９．p23　４．注意すべき仮名遣い　(8)

(8)のp24に《原文の種類や文脈によっては、①～③の方法で書くことができる。
①現代文の仮名遣いで書いたあとに、古文の仮名遣いをカッコ類で囲んで書く
②古文の仮名遣いで書いたあとに、現代文の仮名遣いをカッコ類で囲んで書く》
とあります。
①あるいは②を選ぶ場合の考え方を教えてください。
また、文脈によって、②でなく①を使う場合、以下の文はどのようにしたらよいでしょうか？旧仮名遣いのみの１字をカッコで囲んで書くのでしょうか？
古文の授業で、「竜胆」は現代仮名遣いでは「りんどう」、旧仮名遣いでは「りんだう」と書く、と教えられた。
【A】
ご質問の《古文の授業で、「竜胆」は現代仮名遣いでは「りんどう」、旧仮名遣いでは「りんだう」と書く、と教えられた。》を点訳する場合、「現代仮名遣いでは～、旧仮名遣いでは～」と原文に書いてありますので、「竜胆」「りんどう」「りんだう」をそれぞれ
「リンドー点挿カンジデ■リュー■タン点挿」～
「リンドー」
「リンダウ」
と書いてよいと思います。
なお、「竜胆」は漢語ですので、点字では、古文の点字表記の場合も「リンドー」となります。「古文の点字表記」と墨字の旧仮名遣いは異なりますのでご注意ください。(「てびき」p211～p216参照)
「てびき」p23（8）については、殆どの場合原則に従って、現代仮名遣いで書きます。ただ、原文の文脈の中で、古文の仮名遣いの説明がある場合や、短歌の鑑賞などで、仮名遣いを説明したいときなどには、①や②を用います。カッコ内は読み飛ばす可能性もあることを考慮し、原文の文脈にあわせて、書き方を選びます。

２　その他の仮名遣い

１．p26　1. 外来語・外国語の書き方　【処理４】

「餃子」「如雨露」に、ひらがなで「ぎょうざ」「じょうろ」とルビがある場合、説明文の「～示される仮名の表記に従って書く。」に沿うと、「う」は長音符ではなく「う」になるのでしょうか。

【A】

外来語を原音で記す場合は、片仮名で書くのが一般的で、ひらがなで書いてあるのは、読みを示したルビと考えた方が妥当ではないかと思います。

「ギョーザ」「ジョーロ」の読みをひらがなで示すと「ぎょうざ」「じょうろ」となるのが自然で、ひらがなの中に「ー」を入れるのは不自然です。あえて何かを主張する場合と思われます。(コンビ名の「くりいむしちゅー」など)

読みのルビとしてひらがなで「ぎょうざ」「じょうろ」「かんがるう」などとあれば、「ギョーザ」「ジョーロ」「カンガルー」と書くのが自然ではないかと思います。「かんがるう」の例は、「てびき」ｐ25　【処理３】にあります。

２．p28　４．固有名詞の仮名遣い　(2)

「てびき」ｐ249「用語解説」で固有名詞の中に書名も含まれていますが、ｐ28で扱われている固有名詞の仮名遣いのルールは書名にも適用するものでしょうか。

(「おもひで・思ひ出」のような歴史的仮名遣いで書かれた書名)

【A】

「てびき」３章では、固有名詞を「人名」「地名」「その他の固有名詞」に分類してマスあけの規則を説明してあります。「その他の固有名詞」も用語の上では固有名詞なのですが、p87に書かれているように、人名・地名などからなる固有の部分と普通名詞の組み合わせや、普通名詞同士の組み合わせでできています。

２章の「仮名遣い」では、主にその固有の部分（人名・地名など）の仮名遣いについて説明しています。

ですから、「その他の固有名詞」の普通名詞部分については、原則として現代仮名遣いで書くのがよいと思います。そして、その仮名遣いを説明する必要がある場合は点訳挿入符などで、原文の仮名遣いを入れるのがよいと思います。

「シクラメンのかほり」は「シクラメンノ■カオリ」、「おもひでぽろぽろ」は「オモイデ■ポロポロ」となります。

その２　数字

１　数の書き方

１．p31　１．４桁までの数　【備考】

千の位で終わる数の書き方について、お尋ねします。

１．一冊の本で、「5000円」と書かれているところ、「８千枚」と書かれているところとあり、千の位で終わる表記が混在しています。この場合、「指導者ハンドブック　第２章編」p28、千の位で終わる場合についての記述に合わせて、「数５０００＝エン、数８０００マイ」（もしくは「数５セン、数８セン」）と書き方を統一したほうがよいでしょうか。

２．「指導者ハンドブック　第２章編」p28の記述は、原本で「千」と「1000」が混在している場合、墨字に合わせて「セン、数１０００」と混在して書くのではなく、点字では１タイトルの中では「セン」「数１０００」のどちらかに統一することを推奨する、という解釈でよいでしょうか。

３．一冊の本の中に「2700件」、「３千円」、「4000枚」などとある場合、千で終わる位の表記は「2700」に影響されますか？「数３ゼンエン」「数４センマイ」と書くことはできますか？

４．３．と重複しますが、本の中に「西暦2000年」と「２千回」とが混在する場合も、西暦の書き方に合わせて「数２０００カイ」としたほうがよいでしょうか。

【Ａ】

「てびき」p31　１．で「数字は数符を前置して４桁までは一続きに書く」のが、数の書き方の第１原則ですが、慣習的に【備考】の書き方も行われていることから、４版では「仮名で書くことができる」としました。

「千」の付く位で終わる数を「０００」と書くか「セン」と書くかは、各施設・団体で方針を決めて、書き方を統一します。

そして、【備考】で、仮名で「セン」と書くことを選択した場合でも、p41　５．【処理】によって、電話番号や西暦などは「000」と書くことになりますし、表の中などでも「000」となります。ただ、１．【備考】に当てはまるときに、「セン」と書いたり「000」と書いたりするのは避けます。

１．墨字の表記にかかわらず、「０００」か「セン」かを統一します。

２．上と重複しますが、どちらかに統一します。

３．墨字の表記には左右されません。「０００」と書くことにしていれば「数２７００」「数３０００=エン」「数４０００マイ」、仮名で「セン」と書くことにしていれば「数２７００」「数３ゼンエン」「数４センマイ」となります。

４．「千」の付く位で終わる数を「０００」と書くか「セン」と書くかに関わらず、西暦2000年は、「数２０００ネン」と書きます。そして、「２千回」は、西暦の書き

方に左右されることはありません。

２．p31　２．大きい数

法華経に関する原本に以下のような語が出てきます。数字か、仮名か、分かち書きはどうするか悩んでいます。

原本の表記で書くと、

１．幾百千万億
２．千万億種
３．八万四千の菩薩（「はちまんしせん」と読むようです。
４．百八万億倍
５．七百万二千億年
６．五百千万億
７．百千の仏
８．百千金
９．百千両
10．千万億那由多（「なゆた」も数の単位）

【Ａ】

経典に出てくる一般的な範囲を超えた大きな数字については、以下のような方針で点訳を考えられてはいかがでしょうか。

１．数字の持つ表意性を優先して、基本的には数字で書く。
２．「セン」「ヒャク」は、ぴったりその数字でないことが多いので、殆どは仮名で書く。
３．数字の読み方通りに、大きい位から小さい位に順に書いてある場合は数字の書き方の規則に従ってマスあけする。
４．位が小さい方から大きい方に並んでいる場合は、一続きに書く。

以上の基本的な考え方によって書くと、ご質問の語は次のようになります。

１．幾百千万億　　イクヒャクセンマンオク
２．千万億種 センマンオクシュ
３．八万四千の菩薩（「はちまんしせん」）　数８マン■数４センノ■ボサツ
４．百八万億倍　　数１０８マンオクバイ
５．七百万二千億年　　数７ヒャクマン■数２センオクネン
６．五百千万億 数５ヒャクセンマンオク
７．百千の仏　　ヒャクセンノ■ホトケ
８．百千金　　ヒャクセンキン
９．百千両　　ヒャクセンリョー
10．千万億那由多（「なゆた」も数の単位）　　センマンオクナユタ

２　数を含む言葉の書き方

１．p34　１．数字を漢字音で発音する場合　(1)　［参考］

「原発ゼロ」のときの「ゼロ」の書き方はどうなりますか。語例にある「視界ゼロ」と「やる気ゼロ」の違いはどのように考えればよいのでしょうか。
また、「ベストテン」は原文が仮名書きであれば仮名で書き「ベスト数１０」とは点訳しませんが、原文が「ゼロ歳児」でも「数０サイジ」と表記する、その「テン」と「ゼロ」の違いは何でしょうか？

【A】

仮名で「ゼロ」または漢字で「零」と書いてあっても、明らかに数量的な「０」を示す場合は、数字で書くことにしています。明らかに「０」であるかどうかは判断が揺れる場合もありますが、「視界」は何メートルと計ることができますが、「やる気」はどれぐらいか数量的に計ることができませんので、「シカイ■数０」「ヤル■キ■ゼロ」と書き分けています。原発は、１基、２基と数えることができますので「ゲンパツ■数０」と書きます。

「ワン・ツー・スリー・・・セブン、テン」などの数字と異なり、ゼロは、漢語や和語とも違和感なく結びついて使われます。「セブン歳児」などとは言わないのに「ゼロ歳児」「ゼロ負け」などと使われますので、「ゼロ」は他の英語読みの数字とは異なる性質を持つものとして、数量的な意味があるかどうかを判断して書き表すことにしました。

「ゼロ」以外の数字は、和語・漢語・外来語の読み方の区別が明瞭ですが、「０」については、「ゼロ」「レイ」を無意識に両方使っていることからも、他の数字とは異なるところがあるように思われます。このようなことから、『てびき４版』の立場では、「ゼロ」「零」が明らかに数字の０を表すときは数字表記をお勧めしています。

２．p36　1. 数字を漢字音で発音する場合　(5)

環状８号線と環状７号線の短縮の「環八」「環七」の点字表記は「かんぱち」「かん７」になっていますが、どうして、環八はかなで、環七は数字なのですか？どちらも同じと思うのですが。

【A】

「カン７」は、「なな」と読んでも「てびき」p39　(2)のルールにより、数字で書きますが、「カンパチ」は、p36　(5)のルールによって仮名で書きます。

「サンパチジュー」「ニッパチワ■ヒマダ」などと同じになります。

３．p36　1. 数字を漢字音で発音する場合　(6)

「１番」の書き方についての質問です。

私がこの世で１番、愛した人たちだった。
この世で１番、大切な息子でしてねえ。
これらの文章ですが、「１番」の後に読点があるのでここは数符を使う「１番」でしょうか。もし、読点がなければ最も愛した人たちと言う意味で「イチバン」とするのでしょうか。

【A】

いずれの場合も「イチバン」と仮名で書いてよいと思います。
「一番」を仮名で書くのは、「もっとも」に置き換えられる場合、すなわち副詞の用法の時ですので、
私がこの世で１番愛した人たちだった。
この世で１番大切な息子でしてねえ。
の場合は、迷いなく仮名で「イチバン」となります。
また、後ろに読点があっても、副詞の後ろに読点が来ることもありますので、仮名で書いてよいと思います。
私がこの世で１番、愛した人たちだった。
この世で１番、大切な息子でしてねえ。
こちらも、共に、仮名で「イチバン」となります。
「一番」の後ろが句点の場合は、うしろに修飾する動詞や形容詞などがありませんので、数字になります。また、「一番」の後ろが感嘆符や疑問符の場合は、文末であれば「一番」を数字で書き、文中であれば読点と同じように、「一番」が副詞の用法であれば仮名で書き、それ以外は数字で書くことになります。

４．p36　１．数字を漢字音で発音する場合　(6)

「一手」の書き方で仮名か数字か意見が分かれました。
①本署に行きたきゃ、監察官になるのも一手だ。
②ヒットアンドアウェイを繰り返し…反撃の一手をぶちこもうとするも、風に流され届かない。

【A】

「一手」は、将棋や碁の「一手、二手」は数字で書きますが、その外は、「たった一つの方法」や「すべてを扱う。独占的に扱う」というような意味で「一手、二手」とは言わないので、仮名で書くことにしています。
ただ、点訳フォーラムの語例集に「次の一手」があり、「注記」に「碁や将棋以外の場面で言う場合も含む」と入れています。これは、「次の」に続くことで、碁や将棋以外でも一手、二手と続くことが想定されるので、「次の一手」は数字で書くと判断しました。
①、②とも、仮名で書いてよいと思います。

３　ローマ数字の書き方

１．p42　【処理】

「てびき」ｐ42の【処理】や、ｐ76の【処理】に「ローマ数字を用いる必要がほとんどないと思われる場合は、数字に代えて点訳することができる」とあります。原本通りにローマ数字を使わないで、数字に代えて処理をする理由を教えてください。

また、「Ｉ」を「アイ」という場合は別ですが、ほとんどの場合、点字では、ローマ数字は数符を用いた数字に代えられるように思いますが、ローマ数字を数字に代えないほうがよいのは、どのような場合でしょうか。

以下のような場合はどうしたらよいでしょうか。

①『全訂　判例先例相続法』　Ｉ～Ｖ　　（書名）

②『東南アジア史Ｉ　大陸部』　山川出版社（書名）

③飛鳥Ⅱ（クルーズ客船の名）

④血液凝固因子の中で第Ⅷ因子または第Ⅸ因子に異常

⑤イギリス女王　Queen ElizabethⅡ

【Ａ】

ローマ数字は、多くの場合大文字のアルファベットで書きますので、点字の場合、数字で書けば二マスあるいは３マスで書き表せるところを、Ｉは３マス、Ⅱは５マス、Ⅲは６マス必要になります。また、ＶやＸ、Ｌ、Ｃとなると、数字かどうかの区別も分かりにくく、正確に読むことも大変です。

最近の例ですが、コロナに関する市長からのメッセージのように先が見えない文書に番号をつける場合、初めは、視覚的なイメージからローマ数字でＩ、Ⅱ、Ⅲと付けても、ＸⅦ、ＸⅧとなるとローマ数字では、墨字でも読むのも大変ですし、点字では７～８マスも必要になります。

このように、ローマ数字は視覚的イメージに訴える使い方が多いので、単に番号が分かればよい場合には、点字では数符を用いた数字で書いた方がよいというのが、この【処理】の趣旨です。ただ、点訳の場合、固有名詞の場合やローマ数字の書き方が定着しているもの、書名で、単に巻次ではなくタイトル名に入っている場合、「数Ⅱｂ」のように内容に関係する場合などには、ローマ数字をそのまま使用した方がよいと思います。

ただ、固有名詞かどうか迷う場合も多く、以前よりは原本通りにローマ数字を用いる書き方が多くなったように思います。

ご質問にあった以下の場合、①、④は数符を用いて数字で書いてよいと思います。②は迷いますが、書名ととらえてローマ数字で書いた方がいいように思います。

①『全訂　判例先例相続法』　Ⅰ～Ⅴ　　数字
②『東南アジア史Ⅰ　大陸部』　山川出版社　　ローマ数字
③飛鳥Ⅱ　　ローマ数字
④血液凝固因子の中で第Ⅷ因子または第Ⅸ因子に異常　　数字
⑤イギリス女王　Queen ElizabethⅡ　　ローマ数字

その３　アルファベット

２　語や文を書き表す場合

１．p47　１．アルファベットで書かれた語句や文　【備考】

JAL NEC SMAP には外字符を用いますが、SONY には外国語引用符となっています。両者の区別はどのように理解すればよいでしょうか。
また、Canonは どう点訳すればよろしいでしょうか。

【Ａ】

「てびき」第２章p43、p46にありますように、外字符は略称に用い、外国語引用符は外国語の語句やローマ字で書かれた日本語に用います。

略称には、略する前の元になった語句があります。

たとえば、JALは、Japan AirLine が正式名称です。この中のJとAとLを取って表したのがJALです。ですから外字符で書きます。

NECは、日本電気の英語の社名Nippon Electric CompanyのNとEとCを取ってNECとした略称ですので、外字符で書きます。

SMAPは、Sports Music Assemble Peopleの略ですので、これも略称となります。ですので、外字符で書きます。「てびき」p47の「コラム９」には、OPECの説明がありますから参考にしてください。

一方、LINEやGoogle、YAHOOなどは、何かを略した訳ではありませんので、外国語引用符で囲みます。英語の単語でなくても、ローマ字や造語であっても、略称でなければ外国語引用符で囲んで書きます。

SONYは、音を表すラテン語の複数「soni」から作った造語ですので、外国語引用符で囲みます。

Canonは、英語の「Canon」(「正典」「規範」「標準」という意味）が語源になっていますので、外国語引用符で囲みます。

このように、外字符か外国語引用符かを決めるには、調査をすることも必要になります。いくら調査しても判断が付かない場合は外字符で書くことができます。

ただ、一人で調査して分からなくても、さらに調査すれば分かることかもしれませんので、周囲の人に判断の基準を聞いてみたり、「点訳フォーラム」の語例集を検

索してみたりすることも有効になります。
　また、「てびき」のコラムのほか、「点訳のてびき第３版Ｑ＆Ａ第２集」Ｑ28、「点訳のてびき第３版指導者ハンドブック第２章編」p36の「コラム」なども参考にしてください。

２．p47　１．アルファベットで書かれた語句や文　【備考】

　「点字表記の語例」で「時差biz」が「ジサ■引ｂｉｚ引」と、外国語引用符で書かれていることについて、どのような考え方から外国語引用符になっているのか教えてください。
　英単語の「biz」という解釈でしょうか。「西Navi」についての質問と答えが、掲載されていましたので、「Navi」と同様に考えていいのでしょうか。
　ECO生活　外大大ＥＣＯ■セイカツ　Ecologyの略
　PRSPro　外大大ＰＲＳ■外大Ｐｒｏ
　ソロもんLABO　ソロモン■外大大ＬＡＢＯ　「ソロもん」は独り者、「ＬＡＢＯ」はlaboratoryの略
などは外字符で書かれていますが、これらは「NAVI」のようには考えられない語でしょうか。外字符か外国語引用符か教えてください。
　また、下記のアルファベットは、どうでしょうか。
　ラジオのボリュームをMAXにする。
　Becauseの省略形には「cuz」「coz」「cus」があります。
　　【Ａ】
　「biz」は、「navi」と同じ考えで、「biz」だけでも職業・商売を表す英単語ですので、外国語引用符を用いることとしました。
　eco　は、英語としては、eco-　で　economyもecologyも表し、また、bizより、外来語として一般化していると考え、外字符にしています。OKと同じ範囲に入ると考えました。
　英語にもあるこれらの語は、本来は外国語引用符になりますが、ＯＫやＦＡＸのように、外来語として日本語の中でもなじみがある語として使用されている場合は外字符にしています。ですので、ここは判断に幅のあるところになると思います。
３．ラジオのボリュームをMAXにする。
　Becauseの省略形には「cuz」「coz」「cus」があります。
　これらは、すべて英語ですので、外国語引用符で囲みます。

３．p47　１．アルファベットで書かれた語句や文　「コラム９」

　「My SDGs」という語が出てきた場合、MY は英単語ですので、外国語引用符かと思いますが、SDGs は、外字符でしょうか？

【Ａ】

「My SDGs」のように外国語と略語が複合した語は、一つの外国語引用符に囲んで書くことをお勧めしています。

SDGsは外字符を用いた時の書き方と外国語引用符の中での書き方（「てびき」p137 (5)参照）では異なりますので、注意が必要です。

引大Ｍｙ■大大ＳＤＧ⑥③ｓ引

となります。この場合の⑥③の点は、英語点字の終止符になります。

外国語引用符の中では、日本の点字記号を用いるのではなく、p136～p137にある英語点字の記号を用います。

SDGsは、外字符を用いて書く場合は、p43の規則に従って書きますが、外国語引用符の中ではp137 (5) の規則に従って書きます。

つまり、外字符は、日本語点字の記号であり、外字符の後ろは日本語の記号ですが、外国語引用符の中は英語の点字になります。同じ、⑥③の点でも、日本語の点字記号と英語の点字記号は、名前も働きも異なることに注意してください。

終止符は、英語点字表記の中で、二重大文字符の効力を終わらせる働きがあります。

４．p47　２．１語中の外国語引用符と仮名

「小林’ｓ VOICE」や「アキラさん’ｓアカデミー」の書き方を教えてください。

【Ａ】

「コバヤシズ■引大大ＶＯＩＣＥ引」

「アキラ■サンズ■アカデミー」

と書くのがよいと思います。

「’ｓ」の部分は、そこから外国語引用符で囲んでも、「’ｓ」だけを外国語引用符で囲んで書き表しても、不自然で、また読みにくいので、発音の通りに仮名で書きます。

原文の表記を説明する必要がある場合は、点訳挿入符で囲んで、

（「ズ」ワ、ゲンブンデワ■アポストロフィ■外ｓ）

などと書きます。

５．p49　５．人名　［参考］

人名「Gergen KJ」について教えて下さい。原本通りKJを続けて書く場合、全体を外引符で囲み、KJのそれぞれに大文字符をつけて続けて書くのでしょうか、二重大文字符を使うのでしょうか。

【Ａ】

この場合は、二重大文字符を使用してよいと思います。

ＫＪは厳密に言えば、要素が異なりますので、日本語の点字の感覚では一文字ずつ大文字符を付けた方がよいようにも思えますが、英語にはそのような規則は特にありませんし、特にこだわりなく、機械的に処理する方向になっているとのことですので、大文字が連続していると単純に考えて、二重大文字符を付けることをお勧めします。